

京都芸術大学芸術館では、本学所蔵品や空間を活かし、本学学生（在学学生・卒業生）や教員の作品や活動と協働し、大学の教育・制作・研究活動の一助となるよう学内外に開いていくことを目指しています。

通信教育部学芸員課程学生企画による 「環境ポスター」展を開催

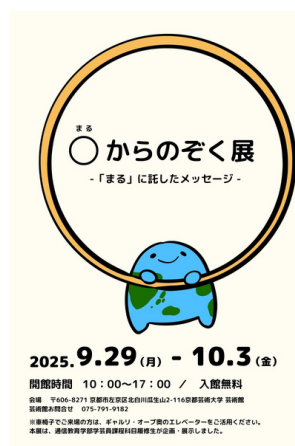
「地球環境」をテーマにしたポスター作品を紹介する本展は、通信教育部博物館学芸員課程の科目等履修生が「博物館実習」の授業で前期・後期に分かれて企画・設営しました。

（前期）『〇（まる）からのぞく展—「まる」に託したメッセージ—』9/29-10/3

まるい形が印象的な作品を集めたこの展示には、たくさんの〇があります。あなたには、どんな〇が見えますか？〇に込められた、未来の形をのぞいてみましょう。

（後期）『地球のオノマトペ どんな音？どんな声？』10/7-10/18

地球からの声や音に耳をすませて、一つ一つの作品と対話しながら感じた地球の「音」を想像してみてください。



造形ワークショップ『サマースクール』及び『サマースクール2025報告展』展を開催しました！

北白川児童館の小学生が学生ボランティアとともにワークショップで制作した作品や活動記録を展示しました。
子どもたちのエネルギーあふれる色彩豊かな大陸で、わくわくの探検を追体験するような展示となりました。

学生が、展示企画、パネルやフライヤーなどのデザインに協力しました！

7月開催の『甘い広告——大正・昭和の洋菓子にみるデザイン文化』展では、大学院生によるフライヤー制作、キャラクターデザイン学科・情報デザイン学科学生による「ことばのお菓子の詰め合わせ」をテーマにした展示会場に飾るヴィジュアル・パネルの制作、芸術館インターン生による同時開催の『わらわらわらべ——饅頭食いと浮世絵と郷土人形の子どもたち』展展示企画と、多くの学生が展覧会づくりに協力しました。



芸術館Instagramでは、展覧会やイベントの情報、作品の紹介、活動報告などを発信中！ぜひ「フォロー」や「いいね！」をしてみてくださいね。